

4 施策の実施プログラム

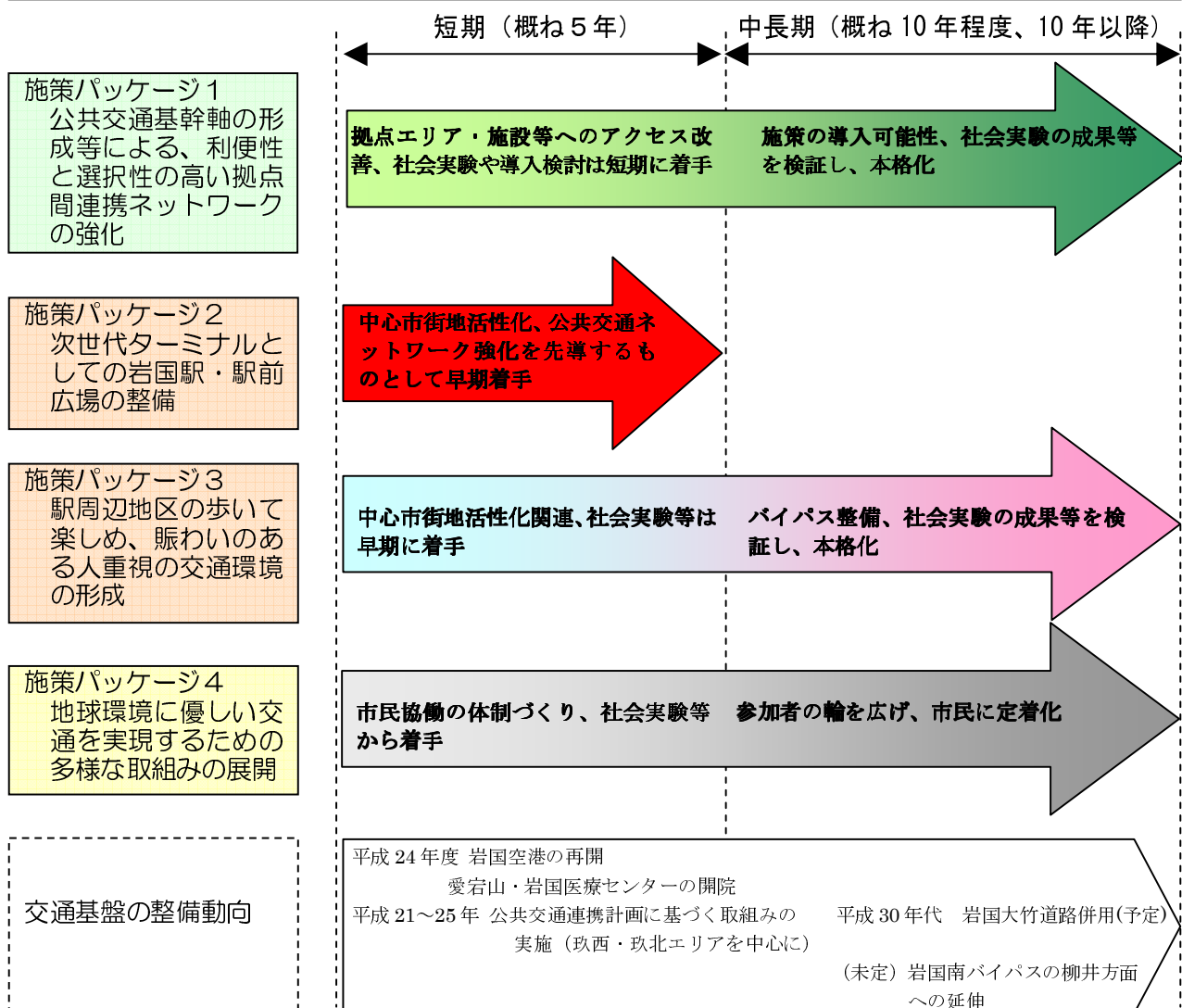
○交通施策の実施時期については、計画論的な重要度、期待される整備効果の大きさを優先性の判断の基本としつつ、

- ・ 市の財政状況からみた投資可能時期
 - ・ 整備計画の具体化や関係機関・地元等との調整・合意に要する時間
 - ・ 本格整備あるいは実施の前に、実験または試行を行うことが適切なもの
- などの要素を考慮して判断することが必要である。

○なお、実施時期は、最優先で取組むべき短期は概ね5年、将来的な中長期は、中期が概ね10年程度、長期は10年以降を目安とする。

4.1 施策パッケージ対応のプログラムイメージ

○施策パッケージ1、3、4は、中長期の実施を睨みつつ、着手可能な施策には短期的に取組み(実験・検討を含む)を開始する。施策パッケージ2(岩国駅のターミナル機能向上)は、交通戦略の先導プロジェクトとして位置付け短期的に推進する。



4.2 パッケージ構成施策別のプログラム

○施策パッケージを構成する施策別の実施プログラムは、以下の通りである。

施策パッケージ1に係る施策

区分	具体的な施策	短期	中長期
1-1 既存鉄道ネットワークを活用した公共交通基幹軸の形成			
ラインの強化	○南北基幹軸としての山陽本線の利便性の向上	→ 検討	→ 実施する場合
	○東西基幹軸への新たな公共交通システム導入の検討	→ 検討	→ 実施する場合
	○基幹軸形成と連携した岩徳線、錦川清流線の利便性の向上	→ 順次実施	→
ノードの強化	○新幹線新岩国駅と錦川清流線等の結節強化	→ 順次実施	→
	○南岩国駅の拠点駅としての機能強化	→ 検討	→ 実施する場合
	○南北・東西基幹軸における新駅設置の検討	→ 検討	→ 実施する場合
1-2 地域間連携に資する幹線道路の重点的な整備	○岩国大竹道路の整備 ○岩国南バイパス南伸の事業化 ○岩国玖西連絡幹線道路の事業化		→
1-3 拠点エリア・施設等へのアクセス性の向上			
(1) 錦帯橋周辺地区の歩いて楽しめる交通環境の形成	○最寄り駅との歩行者・自転車アクセスの改善 ○観光パークアンドバスライドの導入 ○歴史的市街地内の歩行者環境の改善	→ 試行	→ 本格整備
	○空港バスの錦帯橋立寄り・途中下車方式の導入 ○歩いて楽しめる交通環境形成に向けた社会実験実施の検討	→	
(2) 岩国空港との公共交通アクセスの整備	○岩国駅とのアクセス確保	→ バス	
	○空港を中心とした広域的な周遊ルートの強化	→ 順次実施	→
(3) 岩国医療センターとの公共交通アクセスの充実	○最寄り三駅とのバス路線の整備	→	
	○最寄り駅の交通手段間の乗換え施設の改良	→ 岩国駅	→ 南岩国駅等

1-4 交通手段間連携の強化による公共交通利便性向上の支援	○鉄道とバスや自家用車などの端末交通手段との連携強化	順次実施	
	○街なか循環バスなど、路線バスの利便性向上		
	○鉄道・バスの総合的な情報提供システムの導入	検討調整	
	○観光客向けの便利な鉄道・バス共通乗車券の発行	検討調整	

施策パッケージ2に係る施策

区分	具体的な施策	短期	中長期
2-1 東西自由通路の設置	○自由通路と駅舎の一体的な整備・改良		
2-2 岩国駅の改良	○市民利便施設の設置		
2-3 東西駅前広場の改良	○適切な役割分担と連携の下での西口、東口広場の再整備		
2-4 駅前の歩行者・自転車環境の改善	○駅周辺の駐輪場の再整備 ○自転車優先通路としての既存地下通路の活用 ○周辺街区との連携に向けた調整		

施策パッケージ3に係る施策

区分	具体的な施策	短期	中長期
3-1 バイパス整備等による駅周辺の自動車交通の分散化	○岩国大竹道路の整備 ○都市計画道路昭和町藤生線の整備		
3-2 街なかの自動車利用の適正化	○フリンジ型駐車システムの導入 ○街なかへの自動車流入抑制の強化	試行	本格化
3-3 クルマに対する代替交通サービスの充実	○商店街の歩行者空間の魅力化	順次実施	
	○国道188号、県道岩国停車場線の歩行者・自転車空間の拡幅	試行	
	○街なか循環バスの運行	試行	
	○街なかでの福祉的な交通サービスの提供	順次実施	

	○岩国駅の改良と市役所前新駅の設置	→ 岩国駅	→ 新駅
3-4 街なかを歩いて楽しむ市民意識の醸成	○駅周辺の歩行者空間拡大等の社会実験の実施	→	

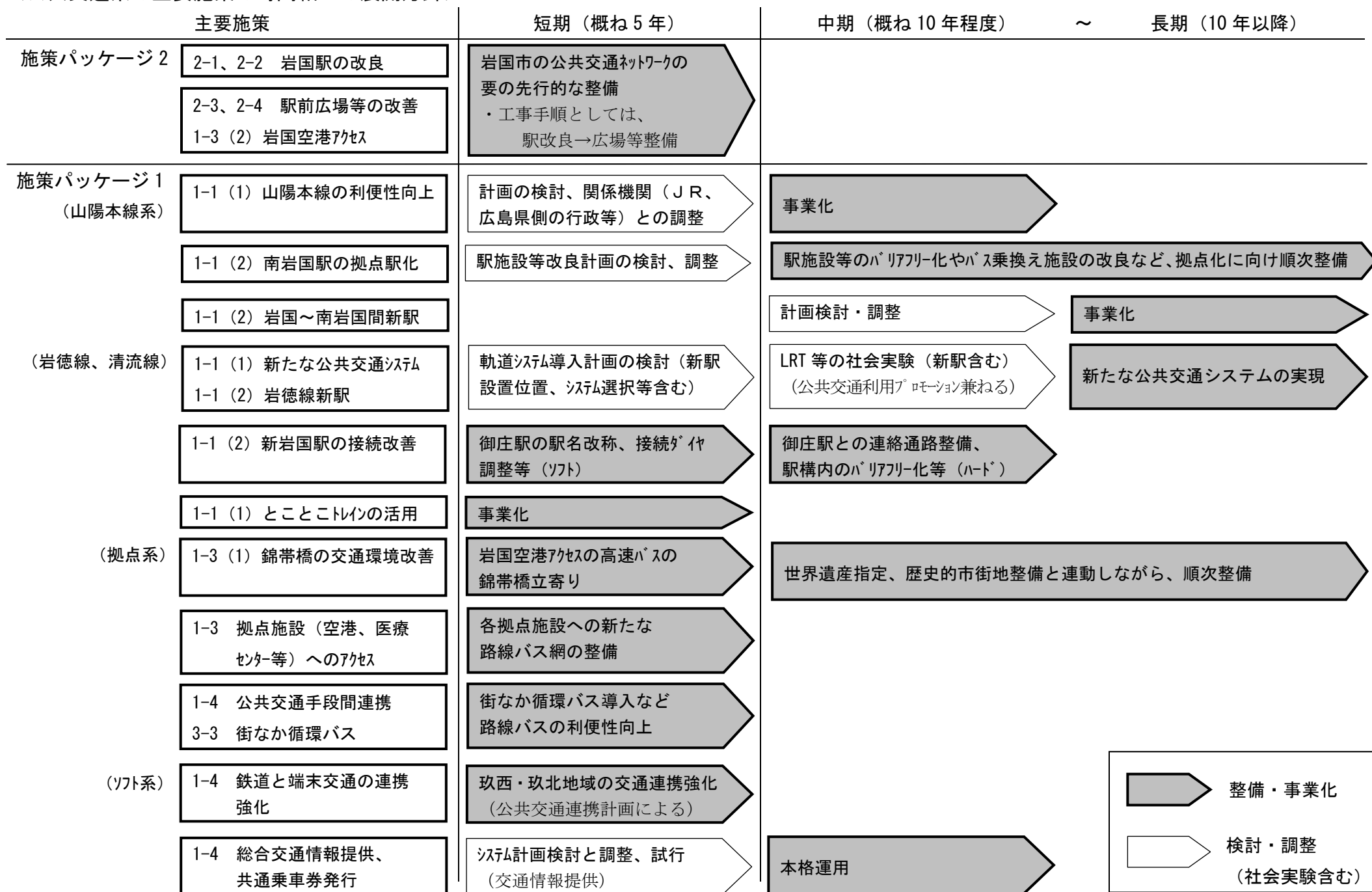
施策パッケージ4に係る施策

区分	具体的な施策	短期	中長期
4-1 エコカー普及の支援	○公共施設・駐車場等への充電ステーションの設置 ○電気自動車を用いた公共レンタカー制度の導入		→
4-2 賢いクルマの使い方の普及の支援	○自動車の共同利用・相乗り普及のための情報変換システムづくり		→
	○駅前広場東口での相乗り車用乗降場の確保	→ 岩国駅	
4-3 市民や企業参加による交通意識の改善運動の展開	○市民ベースでの交通意識・行動の改善運動の推進 ○企業ベースでの交通意識・行動の改善運動の推進	→ 開始	→ 拡大

4.3 公共交通系の主要施策の時間軸上の展開方針

○本交通戦略の中心的部分である、公共交通ネットワークの強化・利便性向上を中心とした主要施策を抽出し、時間軸上の展開方針をより具体的に示すと次ページの図のようになる。

<公共交通系の主要施策の時間軸上の展開方針>



歩行者・自転車交通系の主要施策の時間軸上の展開方針＞

	主要施策	短期（概ね 5 年）	中期（概ね 10 年）	～ 長期（10 年以降）
施策パッケージ 1	1-1（2）南岩国駅の改良		駅施設等の改良と併せた徒歩・自転車アクセスの本格整備	
	1-3（1）錦帯橋の交通環境の改善	歩行・自転車環境改善も含む観光交通対策の社会実験	世界遺産指定，歴史的環境整備と連動した歩行・自転車ルート整備、レンタサイクル拡充等（順次実施）	
	1-4 端末交通手段との連携強化	鉄道駅と結ぶ歩行・自転車ルートの整備（順次実施）		
施策パッケージ 2	2-3 東西駅前広場の整備	駅周辺の駐車場の再整備 自転車優先での地下通路活用		
	2-4 駅周辺の歩行者・自転車環境			
施策パッケージ 3	3-3 自動車の代替サービスの充実	「麻里布地区あんしん歩行エリア」整備等による歩行・自転車ルートの整備，街なか駐輪場の整備等（順次実施）		
	3-1 駅周辺の自動車交通分散化	駅前の歩行者空間拡大等の社会実験	バイパス整備等による駅周辺の自動車交通の分散化	
	3-3 自動車の代替サービスの充実 3-4 歩いて楽しむ市民意識の醸成		街なかの自動車交通の動向を踏まえた国道 188 号等の歩行・自転車空間の拡幅	